

氷見市議会産業建設委員会会議録

令和5年12月13日(水)
氷見市庁舎議事堂委員会室
開 会 午前 9時58分
閉 会 午前11時09分

- 1 案 件 令和5年12月定例会において産業建設委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 5名
稲積委員長、竹岸副委員長、松原委員、谷口委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 積良議長、正保副議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 串田局長、洲崎主査
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、石田産業振興部長、
神代建設部長、正保消防管理監、谷野消防総務課長、角商工振興課長、杉本観光交流課長、赤倉
農林畜産課長、竹口水産振興課長、浜本ふるさと整備課長、堂田道路課長、高田都市計画課長、
足立上下水道課長、そのほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 付託議案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・稲積委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可決することに決した(主な質疑応答は別紙のとおり)。
 - ・委員長報告は「浅野総一郎翁ゆかり都市交流推進事業」を特筆事項とし、作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和5年12月13日

氷見市議会産業建設委員長

稲積 佐門

令和5年12月産業建設委員会付託案件表

令和5年12月13日(水)午前10時
氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎消防総務課 10:00~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
消防総務課所管に係る事項……………説明書P. 31

- ◎商工振興課 10:02~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
商工振興課所管に係る事項……………説明書P. 27

- ◎観光交流課 10:19~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
観光交流課所管に係る事項……………説明書P. 15

- ◎農林畜産課 10:35~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
農林畜産課所管に係る事項……………説明書P. 23

- ◎水産振興課 10:45~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
水産振興課所管に係る事項……………説明書P. 27

- ◎ふるさと整備課 10:48~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
ふるさと整備課所管に係る事項……………説明書P. 25

- ◎道路課 10:54~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
道路課所管に係る事項……………説明書P. 13

- ◎都市計画課 10:58~
 - ・議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第5号)中
都市計画課所管に係る事項……………説明書P. 15

- ◎上下水道課 11:02~
 - ・議案第66号 令和5年度氷見市水道事業会計補正予算(第2号)……………説明書P. 51
 - ・議案第68号 令和5年度氷見市下水道事業会計補正予算(第2号)……………説明書P. 77

(注)財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

<p>商工振興課</p> <p>竹岸委員</p> <p>角商工振興課長</p>	<p>創業・継業支援事業について</p> <p>創業、出店支援件数が増えているとのことであるが、具体的にどのようなお店が増えたのか。また支援件数のペースはどうか。</p> <p>アイスクリームと古着のお店などといった飲食店、カフェ、エステなどが創業されている。順調に創業者は増えており、また若い世代の創業、特に女性による創業も増えている。定住にも繋がっているため、良いペースで推移していると考えている。</p>
<p>観光交流課</p> <p>松原委員</p> <p>杉本観光交流課長</p> <p>松原委員</p> <p>杉本観光交流課長</p> <p>松原委員</p> <p>杉本観光交流課長</p>	<p>浅野総一郎翁ゆかり都市交流推進事業について</p> <p>浅野総一郎翁事績顕彰地シンポジウムの経費が 140 万ほど増えているがなぜか。</p> <p>講師謝金旅費等で 92 万円、交流会場の設営費等で 40 万、その他が雑費で 8 万円の増を見込んでいる。</p> <p>当初の計画が甘く、基調講演と特別講演について、シンポジウムの会議を重ねる中で加えたものである。予算内で収めるため工夫はしたものの、不足が見込まれることから、補正予算をお願いするものである。</p> <p>シンポジウムは神奈川県知事、群馬県知事、富山県知事での知事サミットのような形との説明であった。広報ひみ 1 2 月号の記事も同様である。どのような経緯で変更となったのか。</p> <p>本年 4 月末から、富山県、神奈川県、群馬県の知事へ出席協議したが、11 月 17 日に不参加回答をいただいたもの。広報の原稿については 11 月 13 日が最終稿入稿であり、ぎりぎりでのどのような表現とするか悩んだものの、結果として誤った表現になってしまったもの。</p> <p>事業としては、本市の交流事業として、また企業誘致などのメリットもあるかと思うが、事業の進め方は甘いと言わざるを得ない。広報ひみやマスコミへ公表した内容との相違を市民へどう説明するのか、また今期の補正予算も議決されていない状況での公表は甚だ疑問である。</p> <p>事業の十分な進捗管理を行っていなかったこと、また知事等のスケジュールが固まらなかったことなどから、必要な経費等の見積もりについて議会への説明が遅れたもの。もし補正予算が認められない場合は、高雄市での事業での調整が必要となる。</p>

<p>松原委員</p>	<p>事業内での調整が可能であれば、どうして今回の補正予算の要求となったのか。その事業執行の考え方も内容の変更にしても議会軽視ではないか。事業執行に対し一生懸命であることは理解しているが、補正予算を要求しつつ、事前に決定した事業内容を発表したにも関わらず、その内容が変更となっている。民間企業の場合は、予算の枠に合わせ中身を検証し、費用対効果も含めてどのように繋がるかというものを検討していくものだと思う。</p>
<p>石田産業振興部長</p>	<p>知事の日程に関してはギリギリまで調整いただいたが、最終的にはご参加は叶わず、代わりに川崎市、渋谷市から副市長が来られることとなった。また、生誕 175 周年ということもあり、市民にも浅野翁の実績を知っていただきたいという思いで、著名な講師をお招きすることとしたもの。本来、予算中での計画とするべきところであるが、補正予算をお願いすることとしたもの。</p>
<p>篠田副市長</p>	<p>せっかく氷見市出身の偉人の実績を何とかこの機会に多くの方々にPRすることが大事であると思うので、そこを汲み取っていただきたい。</p>
<p>林市長</p>	<p>175 周年の浅野翁の記念事業であるため、台湾の講師などを呼ぶというような追加を行ったところ、追加の予算をお願いしたところ。浅野翁の成果を市内外の方に認知をいただくこと、また多くの関係企業も協賛をして来場されると伺っているので、十分費用対効果はあると思っている。</p> <p>本来であれば、早い段階で議会へお諮りすべきところ、手続きが遅れたこと、お詫びを申し上げます。</p>
<p>農林畜産課 竹岸委員 赤倉農林畜産課長</p>	<p>畜産業経営持続支援事業について 補助額は適正に算定されているか。</p> <p>飼料のコスト高を国の基準の数値から算定し、飼養頭数に応じて 1 頭当たり 2,500 円補助するもの。</p>